

JENESYS 2.0

メディア9陣

1. プログラム概要

本事業は「JENESYS2.0」の一環として、クール・ジャパンを含め、わが国の強みや魅力、日本人の価値観への理解促進を目指し、カンボジア・インドネシア・ラオスより、訪日体験を発信することを目的に構成された大学生 149 名が来日し、1 月 26 日から 2 月 3 日までの 8 泊 9 日の日程でプログラムを行いました。

2. 参加国・人数

3 か国 計 149 名：

※招聘国内訳：カンボジア（44 名）、インドネシア（55 名）、ラオス（50 名）

（アルファベット順）

3. 訪問地

東京都（全員）

栃木県（カンボジア）

北海道（インドネシア）

福島県（ラオス）

4. 目的

- 1) 日本に幅広く興味・関心を有するアジア諸国の青少年が、クール・ジャパンを含め、我が国の強みや魅力等の日本ブランド、日本人の価値観への理解を深め、帰国後、日本の魅力について積極的に発信する。
- 2) アジア諸国と日本の青少年の相互理解と交流をはかり、将来の礎を築く。
- 3) 日本とアジア諸国の関係を深め、親日家を育てる。
- 4) 日本国内の地方の国際化のため、グローバル人材としての青少年の育成をはかる。

5. 日程

1月27日（火曜日）

入国、来日オリエンテーション

1月28日（水曜日）

NHK 放送博物館（カンボジア、ラオスのみ）

日本科学未来館（インドネシアのみ）

1月29日（木曜日）～1月30日（金曜日）：各グループに分かれ地方訪問

カンボジアグループA・B：栃木県

1月29日（木曜日）

文星芸術大学との交流、とちぎテレビ局・下野新聞・NEWS CAFE 訪問

オリオン通り、エフエムとちぎスタジオ見学

1月30日（金曜日）

大田原市役所表敬、なかがわ水遊園見学

インドネシアグループA・B：北海道

1月29日（木曜日）

道新総合印刷本社工場見学

北海道札幌清田高等学校（Aグループのみ）

北海道札幌藻岩高等学校（Bグループのみ）

1月30日（金曜日）

札幌雪まつり視察、白い恋人パーク見学、JR タワー視察

ホームステイ対面式

ラオスグループA・B：福島県

1月29日（木曜日）

福島中央テレビ・福島民友新聞社 印刷工場訪問

1月30日（金曜日）

国際アート&デザイン専門学校訪問

ホームステイ対面式

1月31日（土曜日）

ホームステイ

2月1日（日曜日）

ホームステイ 歓送会

ワークショップ

2月2日（月曜日）

地方から都内へ移動，報告会

2月3日（火曜日）

出国

6. 写真

6-1. 共通プログラム：オリエンテーション

	
1/27 来日オリエンテーション（東京都）	1/27 来日オリエンテーション（東京都）
Orientation (Tokyo)	Orientation (Tokyo)
	
1/27 来日オリエンテーション（東京都）	1/27 来日オリエンテーション（東京都）
Orientation (Tokyo)	Orientation (Tokyo)
	
1/28 歴史・伝統文化：NHK 放送博物館（東京都）	1/28 歴史・伝統文化：NHK 放送博物館（東京都）
Historical and Traditional Culture: NHK Museum of Broadcasting (Tokyo)	Historical and Traditional Culture: NHK Museum of Broadcasting (Tokyo)

6-2. 地方プログラム

①カンボジア

	
1/29 学校交流：文星芸術大学（宇都宮市）	1/29 学校交流：文星芸術大学（宇都宮市）
School Exchange: BUNSEI University of Art (Utsunomiya City)	School Exchange: BUNSEI University of Art (Utsunomiya City)
	
1/29 地域産業：とちぎテレビ（宇都宮市）	1/29 地域産業：とちぎテレビ（宇都宮市）
Regional Industry: Tochigi Television Co., Ltd. (Utsunomiya City)	Regional Industry: Tochigi Television Co., Ltd. (Utsunomiya City)
	
1/29 地域産業：下野新聞、News Café （宇都宮市）	1/29 地域産業：下野新聞、News Café （宇都宮市）
Regional Industry: Shimotsuke Shimbun, News Café (Utsunomiya City)	Regional Industry: Shimotsuke Shimbun, News Café (Utsunomiya City)

	
1/29 地域産業：エフエムとちぎ（宇都宮市）	1/29 地域産業：エフエムとちぎ（宇都宮市）
Regional Industry: F.M.Tochigi Broadcasting Co., Ltd. (Utsunomiya City)	Regional Industry: F.M.Tochigi Broadcasting Co., Ltd. (Utsunomiya City)
	
1/30 地方自治体表敬訪問：大田原市役所 （大田原市）	1/30 地方自治体表敬訪問：大田原市役所 （大田原市）
Courtesy Call: Ohtawara City Hall (Ohtawara City)	Courtesy Call: Ohtawara City Hall (Ohtawara City)
	
1/30 環境：なかがわ水遊園（大田原市）	1/30 環境：なかがわ水遊園（大田原市）
Environment: NAKAGAWA Aquatic Park (Ohtawara City)	Environment: NAKAGAWA Aquatic Park (Ohtawara City)



1/31 ホームステイ対面式（大田原市）

Meeting with Host Family (Ohtawara City)



1/31 ホームステイ（大田原市）

Homestay (Ohtawara City)



1/31 ホームステイ（大田原市）

Homestay (Ohtawara City)



1/31 ホームステイ（大田原市）

Homestay (Ohtawara City)



2/1 ホームステイ歓送会（大田原市）

Homestay: Farewell Party with Host Family (Ohtawara City)



2/1 ホームステイ歓送会（大田原市）

Homestay: Farewell Party with Host Family (Ohtawara City)



2/1 ワークショップ（大田原市）

Workshop (Ohtawara City)



2/1 ワークショップ（大田原市）

Workshop (Ohtawara City)

②インドネシア



1/29 地場産業：道新総合印刷工場（北広島市）

Local Industry: Hokkaido Shinbun Printing Factory (Kitahiroshima City)



1/29 地場産業：道新総合印刷工場（北広島市）

Local Industry: Hokkaido Shinbun Printing Factory (Kitahiroshima City)



1/29 学校交流：札幌藻岩高等学校（札幌市）

School Exchange: Sapporo Moiwa High School (Sapporo City)



1/29 学校交流：札幌藻岩高等学校（札幌市）

School Exchange: Sapporo Moiwa High School (Sapporo City)



1/29 学校交流: 札幌清田高等学校 (札幌市)

School Exchange: Sapporo Kiyota High School
(Sapporo City)



1/29 学校交流: 札幌清田高等学校 (札幌市)

School Exchange: Sapporo Kiyota High School
(Sapporo City)



1/30 札幌雪まつり会場 (札幌市)

Sapporo Snow Festival (Sapporo City)



1/30 札幌雪まつり会場 (札幌市)

Sapporo Snow Festival (Sapporo City)



1/30 地場産業: 白い恋人パーク (札幌市)

Local Industry: Shiroi Koibito Park
(Sapporo City)



1/30 地場産業: 白い恋人パーク (札幌市)

Local Industry: Shiroi Koibito Park
(Sapporo City)

	
1/30 JR タワー展望室（札幌市）	1/30 ホームステイ対面式（札幌市）
JR Tower Observatory (Sapporo City)	Meeting with Host Family (Sapporo City)
	
1/31 ホームステイ（札幌市）	1/31 ホームステイ（小樽市）
Homestay (Sapporo City)	Homestay (Otaru City)
	
2/1 ホームステイ歓送会（札幌市）	2/1 ホームステイ歓送会（札幌市）
Farewell Party with Host Family (Sapporo City)	Farewell Party with Host Family (Sapporo City)



2/1 ワークショップ（札幌市）

Workshop (Sapporo City)



2/1 ワークショップ（札幌市）

Workshop (Sapporo City)

③ラオス



1/28 地方自治体表敬訪問：天栄村

Courtesy Call : Ten-ei Village



1/28 地域概要紹介：天栄村

Introduction of the Region : Ten-ei Village



1/29 地域産業：福島中央テレビ（郡山市）

Regional Industry : Visit to Fukushima
Central Television (Koriyama City)



1/29 地域産業：福島中央テレビ（郡山市）

Regional Industry : Visit to Fukushima
Central Television (Koriyama City)



1/29 地域産業：福島中央テレビ（郡山市）

Regional Industry : Visit to Fukushima
Central Television (Koriyama City)



1/29 地域産業：福島民友新聞社工場（郡山市）

Regional Industry : Visit to Fukushima
Minyu Shinbun factory (Koriyama City)



1/30 学校交流：国際アート&デザイン
専門学校（郡山市）

School Exchange : International Art & Design
College (Koriyama City)



1/30 学校交流：国際アート&デザイン専門学
校（郡山市）

School Exchange : International Art & Design
College (Koriyama City)



1/30 学校交流：国際アート&デザイン
専門学校（郡山市）

School Exchange : International Art & Design
College (Koriyama City)



1/30 学校交流：国際アート&デザイン
専門学校（郡山市）

School Exchange : International Art & Design
College (Koriyama City)

	
1/30 ホームステイ対面式：天栄村	1/30 ホームステイ：裁縫（天栄村）
Meeting with Host Family (Ten-ei Village)	Homestay : Sewing (Ten-ei Village)
	
1/30 ホームステイ：障子貼り（天栄村）	1/30 ホームステイ：着付け（天栄村）
Homestay : Cleaning and repapering shoji (Ten-ei Village)	Homestay : Wearing Kimono (Ten-ei Village)
	
1/30 ホームステイ：わかさぎ釣り（天栄村）	1/31 ホームステイ歓送会（天栄村）
Homestay : Ice Fishing (Ten-ei Village)	Farewell Party with Host Family (Ten-ei Village)

	
1/31 ホームステイ歓送会（天栄村）	1/31 ホームステイ歓送会（天栄村）
Farewell Party with Host Family (Ten-ei Village)	Farewell Party with Host Family (Ten-ei Village)
	
1/31 ワークショップ（天栄村）	1/31 ワークショップ（天栄村）
Workshop (Ten-ei Village)	Workshop (Ten-ei Village)

6-3. 共通プログラム：報告会

	
2/2 報告会（東京都）	2/2 報告会（東京都）
Reporting Session (Tokyo)	Reporting Session (Tokyo)
	
2/2 修了証授与（東京都）	2/2 修了証授与（東京都）
Presentation of Certificate (Tokyo)	Presentation of Certificate (Tokyo)

7. 参加者の感想（参加者の感想文の抜粋）

◆今回の訪問を通じて、もっとも印象に残ったこと、又帰国後に伝えていきたいこと

7-1. カンボジアA グループ（訪問地：栃木県）

・8日間の日本訪問を通じて、日本への理解がより一層深まりました。私は、この人生で忘れることのできない貴重な経験をすることができました。ホームステイ先のホストファミリーの皆さんの親切な対応と心温まるおもてなしは、特に印象に残っています。新たな家族の絆を感じることができました。また、全ての訪問先において万全かつ効率よく準備されていたことがとても素晴らしかったと思います。帰国後、日本で得られた知識と経験を家族や友人に伝え、日本に関する理解を広めていきたいと思っています。

・訪日プログラムを通じて、私達は日本の文化や伝統的な生活習慣に対してのより一層の理解を深めることができました。日本滞在中に気付いたことのなかで、特に日本人の勤勉さには驚きました。みな、機械のように良く働きます。他方、ホームステイでは、ホストファミリーの皆さんの心温まる対応と親切さに驚き、日本人の違う側面を見ることができました。ご自宅に着いた時からお祖母さん、お爺さん、お父さん、お母さんそしてご家族の皆さんから温かく歓迎され、私たちは、我が家同様に安心して過ごすことができました。日本人のいろいろな側面を見ることが出来て良かったです。

・日本について以前からテレビなどからたくさん情報を得ていましたが、今回このプログラムに参加して様々なことを体験することができました。日本の新幹線の技術の高さに驚き、日本人が優秀であることを改めて認識しました。そして、日本の冬景色や自然は美しく感動しました。カンボジアと日本がお互いを良く知るためには、テレビなどメディアを通してお互いの国の番組を作り放映することだと思います。そのためには両国のテレビ局の連携が必要不可欠です。私たちが情報を発信することで両国の貿易振興が活性化し、文化の交流を一層深めることができると実感しています。

7-2. カンボジアB グループ（訪問地：栃木県）

・日本に到着した時、日本の方々より微笑みと共に歓迎して頂いて感激しました。日本は親切な方々ばかりの国でした。それだけでなく、とちぎテレビ、Radio Berry（エフエムとちぎ）、文星芸術大学、下野新聞社、News Caféなどの視察先で多くのことを学ぶことができました。例えば、災害などの緊急時の伝達が官民協力して行われていることです。ホームステイでは、自分の家のような感覚をいただきました。帰国後、カンボジアで、ワークショップを開いたり、Facebookにページを制作したりして、日本のことを一生懸命に発信し、JENESYS2.0や日本についての質問に応えられるようにしていきます。

・JENESYS2.0 はとても素晴らしいプログラムでした。日本に関する知識はテレビを通してのみでしたが、今回、幸運なことに、この地を直接訪れ、日本の自然、おもてなし、友情、助け合いの精神などに触れることができ、カンボジアとのたくさんの共通点を見つけることができました。日本は、あらゆる面で先進国でした。もし機会があれば、この素晴らしい日本にもう一度来たいです。

・日本の地に到着した時、私はとても嬉しかったです。7日間の視察期間中、たくさんの方に興味を持ちました。勤勉で、一人ひとりが仕事に責任を持ち、訪日団に親切に接してくれたことに感動しました。東京では、建物や道路など先進的なインフラが整備されていました。視察先では、多くのことを学びました。栃木県でのホームステイはとても素晴らしく、良い経験でした。すべての参加者が日本人とともに暮らすことができました。私は、これらの素晴らしい点を発信していきます。そして、大学卒業後、私はアジアの素晴らしい国である日本に留学できるよう力の限り一生懸命勉強します。

7-3. インドネシアA グループ（訪問地：北海道）

・一番印象に残ったことは、地下鉄を利用した時のことです。駅に直結しているエレベーターや通路があったり、駅の自動改札があったりと、すべてが自動化されていました。このことは時間と労働力を節約するだけでなく、使う人を快適にしていました。日常生活においても、日本は独自の文化を非常に大切にしていました。それゆえに、日本の文化が常に発展しているのだと思いました。

・私は、日本の社会秩序と規律の正しさに驚きました。警察署が多くはないにも拘らず快適で安全であることが印象的でした。私は、デモが行われているところを見ましたが、交通を妨げず、しかし、その目的は達しているところを見て驚きました。日本人は非常に独創的で生産的な人々だと思いました。

・私はインドネシアへ帰国したら、私たちがまさに模範としたい日本人の優しさと粘り強さをぜひとも伝えたいです。日本人は仲間を助けるためには躊躇することなく、常に暖かく手を差し伸べます。また、日本人はアンドロイドロボットを開発しました。このロボットは私たちに、技術は未来の私たちの生活をどのように変えるのかということを考える機会を与えてくれました。

7-4. インドネシアB グループ（訪問地：北海道）

・日本人はみんな良い人たちで、ホストファミリーからは温かく迎えていただき、札幌で一番大きなショッピングモールに連れて行ってもらえました。一番印象に残っていることは、自分でたこ焼きを作ったことです。手作りのたこ焼きはとても美味しかったです。地下鉄にも乗りました。地下鉄はとても速かったです。ホストファミリーと一緒にとても楽しく過ごすことが出来、大変いい思い出になりました。この経験は、決して忘れません。ありがとうございました。

・一番印象に残ったのは、たとえ英語がうまくなくても日本人が常に私たちを助けてくれようとしていたことです。温泉に行った時、私たちが唯一の外国人でしたが、日本人はニコニコと受け入れてくれました。私はムスリムですが、私がスナック菓子を買おうとする度に、ホストファミリーが食品に含まれる成分を確認してくれるなど、些細なことにも良く気を配ってもらえました。

・日本はとても清潔できれいに保たれていました。私の靴底はいつもきれいなままでした。日本人は常に快適さを追求しているのだと思いました。そして、強制的ではなく、いつも自主的に人々が行っているということも印象的でした。日本人が自分より他人のことを思いやるという点もこのことから分かります。

7-5. ラオスA グループ（訪問地：福島県）

・今回の日本訪問プログラムで、最も感動したことは、日本人の性格です。大震災が生じた地域で知った「障害を乗り越える」という強さと勤勉さです。福島中央テレビの記者は、人々にニュースを知らせるために、勇気を持って事故が起こった現場に出向きました。また、天栄村のお米は、地震の時に起こった原子力発電所の爆発で、放射性物質に汚染されましたが、人々は、放射性物質の除去を今日まで、3年間以上に亘って行ってきました。天栄村のお米は、今は安全であり、とても美味しかったです。そして、訪問先でお土産を用意してくれるなど、歓迎してもらい感動しました。また、ホームステイ先の家族の皆さんも、歓迎してくれて、優しくよく面倒をみて下さいました。郷土料理の作り方も教えてくれました。私が、得た多くの知識や経験は、必ずラオスで家族や友人、先生方に伝えます。

・今回の訪問を通して、友好的な日本人や美しい古い伝統文化、最先端の科学技術が同時に存在している日本に感銘を受けました。福島県天栄村は、地震と原子力発電所の爆発によって大きな被害を受けましたが、人々の強い心で復興することができたことを知り、日本人の力強いひたむきに心打たれました。ラオスに帰ったら、ラオスの人々に、次の事柄を伝えたいと思います。福島県天栄村の放射性物質の汚染は、その危険がなくなったこと。日本のマスメディアがどのように報道をしているのか。国際アート&デザイン専門学校で学んだ、日本のグラフィックデザインやコミックイラストなどの知識。そして、ホームステイを通して知った日本人の文化・慣習についてです。

・最も印象に残ったことは日本人がとても親切で、思いやりがあり、常に、私達のことを気にかけてくれ、手助けしてくれたことです。まるで家にいるような温かい歓迎を受けました。また、日本人は、礼儀正しく、繊細で気品があり、良い人間関係を保つことができ、すぐにラオス人と分かり合うことができます。私は、日本人の思いやりをとて尊敬します。もし、できるならば、また、日本を訪問したいと思います。

7-6. ラオス B グループ（訪問地：福島県）

・福島中央テレビにおいては、大震災における津波、原発事故、地震の被害について理解し、悲しみと感動を覚えました。ホームステイにおいては、O さんの家庭にお邪魔しましたが、ホストファミリーは私たちを温かく迎えてくれた上、その面倒を常にみてくれました。また、巾着やティッシュケースなどの手工芸の体験もさせていただき、大変楽しかった上にとっても役立つ物を作ることができました。帰国後は「福島はすごい！」とみんなに伝えていきたいと思います。

・私がこのプログラムで感銘を受けたのは、ホームステイを通じて知った日本の生活様式です。またテレビの役割の重要性は、福島中央テレビによる原発の爆発事故報道から知ることができました。福島は雪景色が美しく、その風景に触れることができました。高いビルディングなど日本の発展した文明に触れるとともに、自然を生かした桜の並木道も美しかったです。どんなに発展していても、日本的な生活様式を守り続けるのが日本人のスタイルなのでしょう。桜のシーズンにはまだ早く、開花しているところが見られなかったのが残念でした。

・日本に来る前と違い、日本に来てから感動したのは、日本人の温厚な性格、規則遵守、時間厳守、責任感などです。ホームステイの家族は温かく迎えてくれ、来客を大切にすることが日本人にはあふれていることを知りました。家族もお互いに慈しみあっています。日本人は、規則を守ることによって自分を律し、それが急速な経済開発と高い成長率の基礎にもなりました。また日本人は、運命や自然災害には屈しません。たとえば、戦争に負けても、たびたび自然災害に脅かされても、自国の開発を進めることができ、高い生活水準を維持し続けていることを知りました。